

十月よみとりおけいこ⑤ (低)

名まえ

十月は「神無月」ともいいます。なぜか知っていますか？
そもそも日本の神さまは八百万の神といって、そこら中におられるものでした。お寺ではしずかに手を合わせておがみますが、じんじやではパンパンと手をうつでしよう？
これは仏さまなら自分のまえにいらっしやるから、音をたてなくてもいのりはとどくけれど、神さまはいつばいおられてしかもどこに行つてらっしやるかわからないので音をたてて自分ここにいますよ、と伝えるためです。

さてそれではなぜ十月を神無月というのか、ということですが。神さまが無い月ということなのです。ではいったい十月に神さまはどこに行かれるのでしょうか？

こたえはいずもです。島根県にえんむすびの神さまとしてよく知られたいずもたいしゃがあります。日本中の神さまは十月にそこにあつまることになっているのです。そのためいずもでは十月のことを神無月とはよばず神在月とよんでいます。

それでは神さまはいったいなにをするためにいずもに行くのでしょうか。

じつは神さまたちはここでこつそり会ぎをするとかんがえられていました。あの人とこの人をけっこんさせようとかきめるのもここだ、とかんがえられました。会ぎのあいだはしずかにしないといけないので、そのあいだ一しゅうかんほど、いずもの人は大きわぎはつつしみます。

ところで「ぜんざい」「はもともと神在もちといういずもの名ぶつがルーツです。「じんざいもち」がなまって「ぜんざい」といわれるようになったのです。たべたことはありませんか？

おんどくサインー

① なんのはなしでしょうか？

② 日本中の神さまは十月にどこに行くとおもわれたのでしょうか？

③ いずもはなにけんにありますか？

④ いずもでは十月をなんとよびますか？

⑤ なぜ仏さまの前では手をうたないのですか？

⑥ なぜ神社では手をうつのですか？

⑦ 神さまはあつまってこつそりなにをする、とかんがえられたのですか？

⑧ 神在もちがもとなつたたべものはなんですか？

() (あわもち) (おしるこ) (ぜんざい)

⑨ あつているものに○をつけましょう。

() (会ぎの時はうるさくしてもいい。

() (八百万を「やおよろず」とよむ。

() (いずもにはえん切りの神さまがすむ。

⑩ 上の文のかんそを五行でまとめましょう。

できばえは？

